

唐 物

特別展

KARA-MONO

— 中世鎌倉文化を彩る海の恩恵 —

2017
11/3 金

2018
1/8 月



【開館時間】 9時～16時30分（入館は16時まで）
【休館日】 月曜日（1/8は開館）、11/24、12/28～1/4
【観覧料】 一般 600円（500円）、20歳未満・学生 400円（300円）
65歳以上 200円（100円）、高校生 100円、中学生以下・障害者の方は無料
※（ ）内は20名以上の団体料金
【交通】 京急線「金沢文庫駅」東口より徒歩12分（快特で品川駅より33分、横浜駅より16分）
シーサイドライン「海の公園南口駅」より徒歩10分（JR根岸線 新杉田駅接続）

神奈川県立金沢文庫

Kanagawa Prefectural Kanazawa-Bunko Museum

<http://www.planet.pref.kanagawa.jp/city/kanazawa.htm>

〔主催〕 神奈川県立金沢文庫 〔特別協力〕 神奈川県立歴史博物館 〔協力〕 横浜市金沢区役所

重要文化財 観音菩薩坐像 南宋時代 清雲寺
白衣観音像 元時代 個人
青磁袴腰香炉 南宋時代 清浄光寺

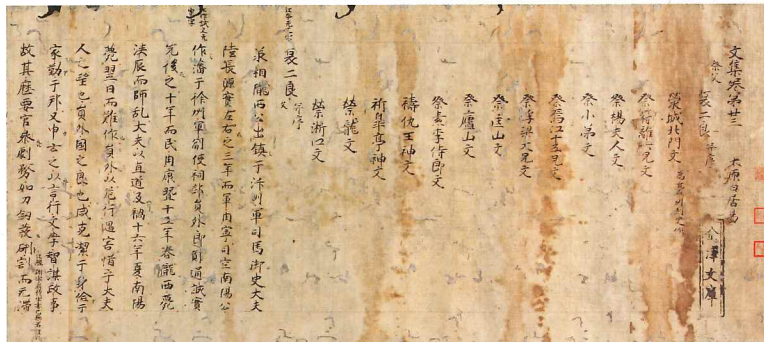
唐物

特別展
KARA-MONO
中世鎌倉文化を彩る海の恩恵

大陸との交易は、中世都市鎌倉に陶磁器や書物、經典、墨などさまざまな「唐物」をもたらし、国際色豊かな文化を形成しました。「唐物」の受容は同時代に輸入された文物にとどまりません。北条実時は、入唐僧・惠尊が平安時代に請来した『白氏文集』を写して創設した金沢文庫に収めました。また、中国の国際貿易都市・寧波沖の普陀山の、惠尊ゆかりの観音菩薩像を祀ります。この普陀山観音は海上の守護として東アジア諸国で信仰され、鎌倉地方にも仏像や仏画が伝えられています。本展では、鎌倉文化の基層にある大陸への憧憬を国宝、重要文化財など約 100 点から探ります。



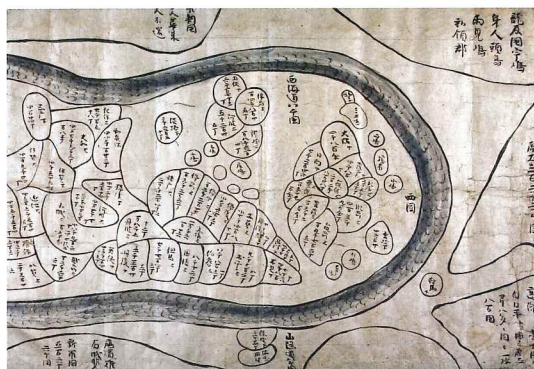
重要文化財 韋駄天立像
南宋時代 泉涌寺



重要文化財 白氏文集 卷二十三 鎌倉時代 三井記念美術館



重要文化財 白衣観音像 元時代 建長寺



重要文化財 日本図 鎌倉時代 称名寺



白磁四耳壺 元時代
神奈川県立歴史博物館



重要文化財 青磁壺 元時代
称名寺

関連行事 (事前申込制)

◆①特別講演会 (横浜市金沢区役所連携「金沢を知る講演会」)

11月18日(土) 田中史生氏 (関東学院大学教授)

「入唐僧惠尊の足跡をたどる『白氏文集』の将来と普陀山の観音像をめぐる」

◆②連続講座「唐物と東アジアの海域交流」(全5回・受講料5000円)

11月11日(土) 梅沢恵 (神奈川県立金沢文庫主任学芸員)「鎌倉地方における唐物受容」

11月25日(土) 石野一晴氏 (学習院大学研究員)「観音様に会える島—明代における普陀山復興と巡礼—」

12月2日(土) 西谷功氏 (泉涌寺宝物館「心照殿」学芸員)「入宋僧と普陀山観音信仰」

12月9日(土) 佐々木蘭貞氏 (九州国立博物館研究員)

「鷹島海底遺跡の調査とその後—これからの水中考古学研究」

12月16日(土) 長岡龍作氏 (東北大学教授)

「海をわたる釈迦像—清涼寺釈迦如来像の胎内に見る信仰世界」

◆③金沢文庫月例講座 11月4日(土)

梅沢恵 (神奈川県立金沢文庫主任学芸員)「特別展『唐物 KARA-MONO』の見どころ」

◆④国宝・金沢文庫文書に親しむ講座 11月23日(木・祝)

貫井裕恵 (神奈川県立金沢文庫学芸員)「唐物関係史料を読む」

◇時間 ①、②は 13:30~15:30、③、④は 13:30~15:00

◇会場 地下大会議室

◇定員 100名 (応募多数の場合は抽選)

◇受講料 ①、③、④は無料 (ただし当日の観覧券が必要です)、②は 5000円

[申込方法]

当文庫 HP のフォームメール、往復はがき(お一人様、1講座1通まで)に、講座名(開催日)、住所、氏名、電話番号を明記の上、①11月5日、②10月29日、③10月22日、④11月9日必着でお申し込みください。

〒236-0015 神奈川県横浜市金沢区金沢町 142

神奈川県立金沢文庫

電話 045-701-9069 FAX 045-788-1060

次回の展覧会

特別展 運慶 鎌倉幕府と靈験伝説

2018年1月13日(土)~3月11日(日)



陸信忠筆 十王図 元時代
称名寺



普陀山観音像 明時代
称名寺

